第2章

通信の設定をする

設定の準備と作業の流れ

カメラで通信やインターネット機能を使う場合には、通信に関するいくつかの設定をしておく必要があります。

プロバイダーとの契約は済みましたか？

インターネットに接続するには、プロバイダーとの契約が必要です。まだ契約をしていない方は、契約をしてから通信の設定を行ってください。

補足
・次のような場合、プロバイダーとの契約は必要ありません。
- 企業内ですでにインターネットの環境が用意されている。
- オフィスのFAXやコンピューターにダイレクトに画像を送信する機能だけを使う。

設定のための情報を準備する

設定には、プロバイダーやシステム管理者から提供される次のような情報が必要です。ここではtestnetという架空のプロバイダーの例で説明しています。プロバイダーによっては、使用している用語が異なったり、提供されない情報もあります。詳しいことは、後の項で説明します。→P.24～

●ダイヤルアップ接続の情報

インターネットに接続するために必要な情報です。

・電話番号　：アクセスポイントのリスト
・PPPアカウント　：（例：testname）
・PPPパスワード　：（例：1234ABCD）
・第1ネームサーバー　：（例：xxx.xxx.xxx.xxx）xxxは0～255の数字
・第2ネームサーバー　：（例：xxx.xxx.xxx.xxx）xxxは0～255の数字

●メールの情報

メールを使うために必要な情報です。

・SMTPサーバー名　：（例：smtp.testnet.ne.jpまたはxxx.xxx.xxx.xxx）
・POPサーバー名　：（例：pop.testnet.ne.jpまたはxxx.xxx.xxx.xxx）
・POPアカウント　：（例：testname）
・POPパスワード　：（例：1234ABCD）
・メールアドレス　：（例：testname@testnet.ne.jp）

●ダイレクト送信やFTPアップロードの情報

画像などのファイルを送信するために必要な情報です。

・転送先サーバー　：（例：ftp.testnet.ne.jpまたはxxx.xxx.xxx.xxx）
・転送先フォルダー　：（例：/xxxx/xxxx）

コラム

通信設定の用語について

設定に使われる用語は、プロバイダーによって異なります。これらの用語については、次の例を参考にしてください。

本製品の項目名	プロバイダーが使用している例
電話番号	：アクセスポイント
PPP アカウント	：ユーザー名、ユーザー ID、アカウント ID、接続 ID、接続アカウント、ログイン名、PPP ログイン名
PPP パスワード	：パスワード、接続パスワード
第 1 ネームサーバー	：プライマリーネームサーバー、プライマリー DNS、DNS サーバー
第 2 ネームサーバー	：セカンダリーネームサーバー、セカンダリー DNS
SMTP サーバー名	：送信メールサーバー、メールサーバー
POP サーバー名	：受信メールサーバー、メールサーバー
POP アカウント	：メールアカウント
POP パスワード	：メールパスワード
メールアドレス	：電子メールアドレス、E-Mail アドレス
転送先サーバー	：FTP サーバー

おおまかな設定作業の流れ

カメラで利用できる通信とインターネット機能は次の 6 種類です。
機能によって、設定作業の流れは異なります。次ページの流れ図を参考にして、使いたい機能の設定を順番に行ってください。

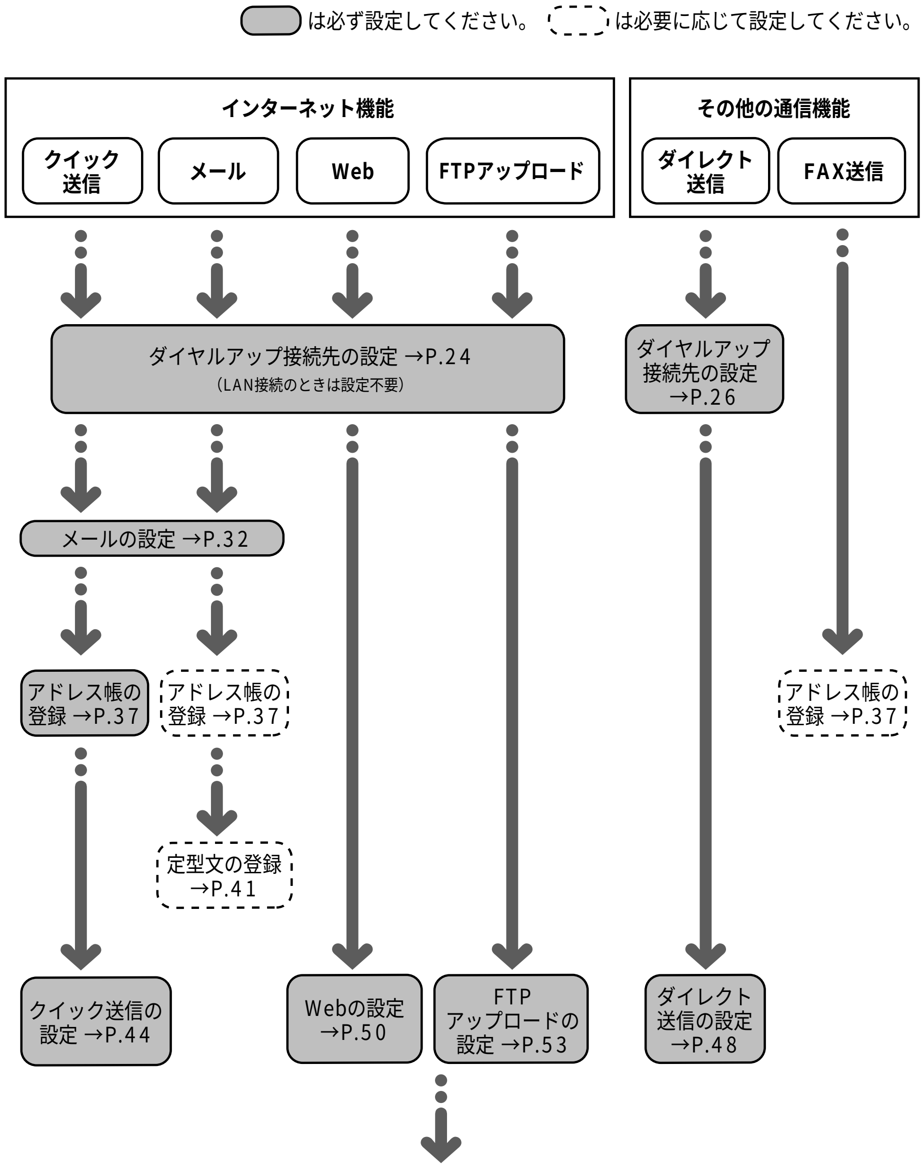
- **クイック送信**：電子メールを利用して、手軽な操作で画像を送信する機能です。
- **メール**：メールを送信したり、受信したりする機能です。メールに画像を添付して送ることもできます。
- **Web**：インターネット上にある Web（ホームページ）を見る機能です。
- **FTP アップロード**：画像を埋め込んだ HTML ファイルとオリジナルの画像をホームページのあるサーバー（コンピューター）にアップロード（送信）する機能です。
- **ダイレクト送信**：コンピューターに直接ファイルを転送（送信）する機能です。
- **FAX 送信**：FAX に画像を送信する機能です。

重要

・はじめて通信やインターネット機能を利用するときは、必ず、通信の設定を行ってください。ただし、設定内容に変更がない限り、通信のたびに設定する必要はありません。

補足

・カメラを LAN（企業内ネットワークや家庭内ネットワーク）に接続してインターネット機能を利用する場合は、ダイヤルアップ接続先の設定をする必要はありません。
・カメラを LAN に接続する方法については、パソコンとの連携編「カメラをネットワークに接続する」をご覧ください。



設定が終了したら、第3章（→P.55）に進んでください。

ダイヤルアップ接続先を設定する

インターネットに接続するときの、接続先の電話番号やサーバー名などを設定します。

補足 ・オフィスのコンピューター（サーバー）にダイレクトに接続してダイレクト送信を行うときも、同じように接続先の電話番号やサーバー名などを設定します。→ P.26

新しいダイヤルアップ接続先を追加する

新しいダイヤルアップ接続先を追加します。

■ダイヤルアップ接続先の設定内容

（クイック送信、メール、Web、FTP アップロードの場合）

ここでは、次の 10 項目を設定します。
設定の手順については後の項で説明します。→ P.29

●ダイヤルアップ名

接続先の名前です。わかりやすい名前を自由に入力できます。一般的にはプロバイダーの名前やアクセスポイントの場所を入力します（例：testnet 東京）。

●電話番号

接続先の電話番号です。提供されたアクセスポイントの中から最寄りの電話番号を入力します（例：03-xxxx-xxxx）。

補足 ・出張などで移動が多い場合は、出張先ごとにダイヤルアップ接続先を用意すると便利に使えます。
・デジタル携帯電話や PHS を使って接続する場合、ご使用の電話機とプロバイダーの組み合わせによってはPTE（プロトコル変換装置）を利用する必要があります。利用するときの電話番号の指定方法やPTEについては、通信カードに付属の説明書をご覧ください。

●ダイヤル方式

通常の電話回線の場合に、使用している電話回線の種類を選びます。「トーン」または「パルス」のいずれかの を選びます。工場出荷時には「トーン」に設定されています。ISDN 回線や携帯電話、PHS をご使用の場合は、「トーン」のままにしておきます。

・**トーン**　：ダイヤルしたときに「ピッポッパッ」と音がする方式です。
・**パルス**　：ダイヤルしたときに「ジージー」と音がする方式です。

補足　・電話回線の種類が異なると、接続はできません。回線の種類がわからない場合は、ご加入の電話会社にお問い合わせください。

●外線発信番号

企業内等の内線から発信する場合に、「0」「1」「2」...「9」などの外線発信番号を設定します。ここで設定した外線番号が、接続先の電話番号の前に加えられてダイヤルされます。設定が不要の場合は空欄のままにしておきます。

● PPP アカウント

インターネットに接続するときのアカウント名（契約者名）です。ユーザー名、ユーザー ID などとよぶこともあります（例：testname）。

● PPP パスワード

インターネットに接続するときのパスワードです（例：1234ABCD）。

重要
・アカウントやパスワードは、次のことに注意をして入力してください。
- 大文字小文字の違い。
- 数字の 0「ゼロ」と英字の O「オー」の違い。
- 数字の 1「イチ」と英字の I「アイ」、英字の l「エル」の違い。
・パスワードはとても大切なものです。他の人の目にふれないようにしっかり管理してください。

●第 1 ネームサーバー
●第 2 ネームサーバー

プロバイダーやシステム管理者が管理しているネームサーバーのIPアドレス（宛先のようなもの）を入力します（例：xxx.xxx.xxx.xxx）。

重要
・ネームサーバーを指定しないと、インターネット機能が正常に動作しません。必ず設定してください。

補足　・第1ネームサーバーは通常使用するサーバーです。このサーバーが機能しなかったときに緊急用として使われるのが第2ネームサーバーです。

●回線自動切断

Web（ホームページ）を見ているときに有効な設定です。電話回線を利用していない（アクセスしていない）時間がどのくらい経過したら自動的に回線を切断するかを設定します。 ▲・▼ キーや ▲・▼ を使って、1〜59 分の範囲で指定します。工場出荷時には「3 分」に設定されています。

2
通信の設定をする

●IP アドレス

カメラ自身の IP アドレスです。工場出荷時には空欄になっています。
IPアドレスはサーバーによって自動的に割り当てられるため、通常は設定する必要はありません。プロバイダーやシステム管理者から IP アドレスを提供された場合にだけ設定します。

コラム

PPP について

通常、インターネットに接続するときは、公衆回線からダイヤルアップ接続を行います。このとき使われるプロトコル（通信の手順や約束ごと）が PPP（Point-to-Point Protocol）です。そのため、接続用のアカウントのことを PPP アカウントとよぶことがあります。

IP アドレスとドメイン名について

インターネットにはたくさんのコンピューターが接続されています。その中から1台1台のコンピューターを識別するために使われるのが IP アドレスで、「xxx.xxx.xxx.xxx（xxx は 0 ～ 255 の数字）」という形式で表現されます。IPアドレスを、人間が理解しやすい文字列に置き換えたものをドメイン名といいます（例：testnet.ne.jp）。

ネームサーバーについて

DNS (Domain Name System) サーバーともいい、アルファベット表記のドメイン名を、数値表記の IP アドレスに相互変換するサーバーです。カメラで指定したドメイン名をIPアドレスに変換して、インターネット上の目的のサーバーを探す役割をします。

■ダイヤルアップ接続先の設定内容（ダイレクト送信の場合）

ここでは、次の 10 項目を設定します。
設定の手順については次の項で説明します。→ P.29

補足 ・設定については、パソコンとの連携編　第7章「ダイレクト送信の受信側を設定する」もあわせてご覧ください。

●ダイヤルアップ名

接続先の名前です。わかりやすい名前を自由に入力できます。一般的には接続先のコンピューター名などを入力します（例：testserver）。

●電話番号

接続先の電話番号です。受信側のコンピューター（実際にはモデム）が接続されている電話番号を入力します（例：03-xxxx-xxxx）。

●ダイヤル方式

通常の電話回線の場合に、使用している電話回線の種類を選びます。「トーン」または「パルス」のいずれかの を選びます。工場出荷時には「トーン」に設定されています。ISDN回線や携帯電話、PHSをご使用の場合は、「トーン」のままにしておきます。

- **トーン**　：ダイヤルしたときに「ピッポッパッ」と音がする方式です。
- **パルス**　：ダイヤルしたときに「ジージー」と音がする方式です。

補足　・電話回線の種類が異なると、接続はできません。回線の種類がわからない場合は、ご加入の電話会社にお問い合わせください。

●外線発信番号

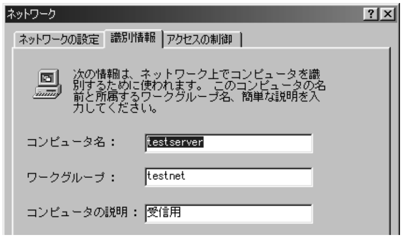
企業内等の内線から発信する場合に、「0」「1」「2」...「9」などの外線発信番号を設定します。ここで設定した外線番号が、接続先の電話番号の前に加えられてダイヤルされます。設定が不要の場合は空欄のままにしておきます。

● PPP アカウント

接続先のコンピューター名（受信側のコンピューター名）を入力します（例：testserver）。

<受信側が Windows の場合>

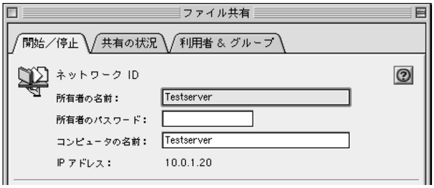
［スタート］メニューから、［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］-［識別情報］タブを選択します。［コンピューター名］で設定した名前をPPPアカウントに入力します。



補足　・ここではWindows98で説明しています。Windows2000では、手順が多少異なります。

＜受信側が Macintosh の場合＞

アップルメニューから、［コントロールパネル］-［ファイル共有］-［開始/停止］タブを選択します。［所有者の名前］で設定した名前を PPP アカウントに入力します。



補足 ・ここでは MacOS9 で説明しています。MacOS9 よりの前のバージョン（8.6 など）では、手順が多少異なります。

● PPP パスワード

コンピューターに接続するときのパスワードを入力します（例：1234ABCD）。

重要

・アカウントやパスワードは、次のことに注意をして入力してください。
  - 大文字小文字の違い。
  - 数字の 0「ゼロ」と英字の O「オー」の違い。
  - 数字の 1「イチ」と英字の I「アイ」、英字の l「エル」の違い。
・パスワードはとても大切なものです。他の人の目にふれないようにしっかり管理してください。

＜受信側が Windows の場合＞

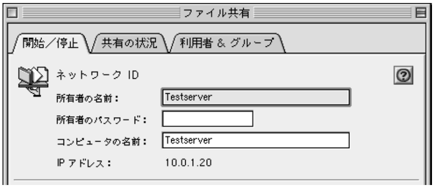
［マイコンピューター］-［ダイヤルアップネットワーク］-［接続］メニュー -［ダイヤルアップサーバー］-［パスワードの変更］で設定したパスワードを PPP パスワードに入力します。



補足 ・ここでは Windows98 で説明しています。Windows2000 では、手順が多少異なります。

＜受信側が Macintosh の場合＞

アップルメニューから、[コントロールパネル] - [ファイル共有] - [開始/停止] タブを選択します。[所有者のパスワード] で設定したパスワードをPPPパスワードに入力します。



補足 ・ここでは MacOS9 で説明しています。MacOS9 よりの前のバージョン（8.6 など）では、手順が多少異なります。

●第 1 ネームサーバー
●第 2 ネームサーバー

空欄のままにしておきます。

●回線自動切断

Web（ホームページ）を見ているときに有効な設定です。設定する必要はありません。

●IP アドレス

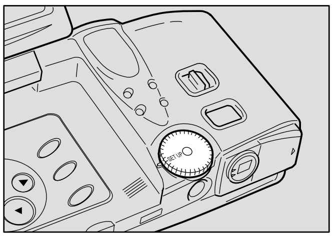
カメラ自身の IP アドレスです。設定する必要はありません。

■ダイヤルアップ接続先を追加する

ダイヤルアップ接続先を追加する手順について説明します。

❶ モードダイヤルを [SETUP] に合わせます。

初期設定メニューが表示されます。



❷ [ダイヤルアップ設定] を選びます。

ダイヤルアップの設定画面が表示されます。



❸［追加］を選びます。



❹ 各項目の設定を行います。

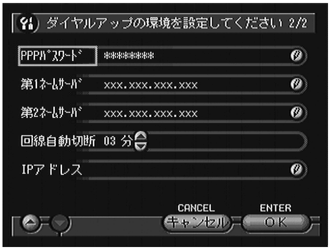
設定は2画面あります。

参照 ・P.24, 26「ダイヤルアップ接続先の設定内容」
・カメラ編「ソフトキーボードを使う」「項目の選択のしかた」



❺ 設定が終了したら、［OK］を選びます。

設定が完了し、ダイヤルアップの設定画面（手順❸）に追加したダイヤルアップ接続先が表示されます。



❻［終了］を選びます。

初期設定メニューに戻ります。

ダイヤルアップ接続先の設定を変更する

すでに登録してあるダイヤルアップ接続先の設定を変更します。

❶ ダイヤルアップの設定画面を表示します。

参照 ・P.29「ダイヤルアップ接続先を追加する、手順❶・❷」



❷［ダイヤルアップ名］から変更したい設定を選んだ後、［変更］を選びます。

選択したダイヤルアップの設定内容が表示されます。

補足 ・目的のダイヤルアップ接続先が表示されていない場合は、リストの右側にある▲や▼を使って目的のダイヤルアップ接続先を表示します。

❸ **設定を変更します。**
設定は2画面あります。

重要
・変更した設定は復元できません。設定の内容を十分に確認してから変更を行ってください。



❹ **設定が終了したら、[OK] を選びます。**
変更が完了し、ダイヤルアップの設定画面に戻ります。

❺ **[終了] を選びます。**
初期設定メニューに戻ります。

ダイヤルアップ接続先を削除する

不要になったダイヤルアップ接続先を削除します。

❶ **ダイヤルアップの設定画面を表示します。**

参照 ・P.29「ダイヤルアップ接続先を追加する、手順❶・❷」



❷ **[ダイヤルアップ名] から削除したい設定を選んだ後、[削除] を選びます。**
削除を確認するメッセージが表示されます。

重要
・削除した設定は復元できません。設定の内容を十分に確認してから削除を行ってください。

❸ **シャッターボタンを押します。**
選択したダイヤルアップの設定が削除されます。手順❷・❸を繰り返すと、続けて削除できます。

補足 ・[キャンセル] を選ぶと、削除を中止できます。



❹ **削除が終了したら、[終了] を選びます。**
初期設定メニューに戻ります。

メールを設定する

メールを送信したり、受信するときの条件を設定します。

メール環境を設定する

はじめにメールの環境を設定します。

■メール環境の設定内容

ここでは、次の 11 項目を設定します。
設定の手順については次の項で説明します。→ P.34

● SMTP サーバー名

送信用のメールサーバーで、送信したメールを一時的に保管します。プロバイダーやシステム管理者から提供されたサーバー名を入力します。
（例：smtp.testnet.ne.jp または xxx.xxx.xxx.xxx）

● POP サーバー名

受信用のメールサーバーで、受信したメールを保管します。プロバイダーやシステム管理者から提供されたサーバー名を入力します（例：pop.testnet.ne.jp または xxx.xxx.xxx.xxx）。

補足 ・SMTP サーバーと POP サーバーが共通の場合もあります。

● POP アカウント

受信用のメールサーバーに接続するときのアカウント名です（例：testname）。ダイヤルアップ接続先設定の PPP アカウントと共通の場合もあります。

● POP パスワード

受信用のメールサーバーに接続するときのパスワードです（例：1234ABCD）。ダイヤルアップ接続先設定の PPP パスワードと共通の場合もあります。

重要
- アカウントやパスワードは、次のことに注意をして入力してください。
  - 大文字小文字の違い。
  - 数字の 0「ゼロ」と英字の O「オー」の違い。
  - 数字の 1「イチ」と英字の I「アイ」、英字の l「エル」の違い。
- パスワードはとても大切なものです。他の人の目にふれないようにしっかり管理してください。

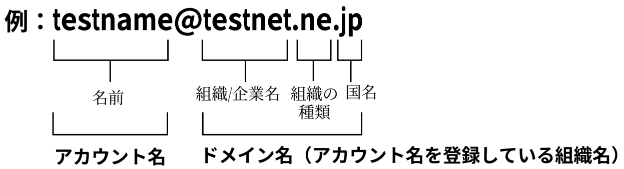
コラム

SMTPとPOPについて

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）は、メールの送信時に使われるプロトコル（通信の手順や約束ごと）です。POP（Post Office Protocol）は、自分宛のメールをメールサーバーから受け取るときに使われるプロトコルです。

●メールアドレス

電子メールを利用するときに、ひとりひとりを識別するために使う名前と住所に相当するものです。アドレスは@マーク（アットマーク）を挟んで、2つの部分に分かれます。



●発信者名

発信者つまり自分の名前です。送信したメールの送信者欄「From:」に自動的に記載されます（例：田中太郎、Taro Tanaka）。

補足 ・発信者名は自由に入力できますが、海外とメールのやり取りが多い場合は、英字で入力することをおすすめします。

●署名

署名は、送信者の情報（名前、メールアドレス、連絡先など）をまとめたものです。ここで入力した署名は、メール本文の最後に自動的につけ加えられます。必要がない場合は空欄のままにしておきます。

例：



●受信メール自動削除

受信用のメールサーバーに保管されている自分宛のメールを、メールを受信した後で削除するかしないかを設定します。「する」または「しない」のいずれかの を選びます。工場出荷時には「しない」に設定されています。

●受信メール取得最大サイズ

指定した数値より大きなサイズのメールを受信しないように設定します。▲・▼キーや ・ を使って、0 ～ 300KB の範囲で 1KB 単位ごとに指定します。0に設定した場合、メールは受信されません。工場出荷時には「64KB」に設定されています。

補足 ・大きなサイズのメールは、受信できないことがあります。

●送信済メールの保存

メールを送信した後、送信済みのメールを送信簿に保存するかしないかを設定します。「する」または「しない」のいずれかの を選びます。工場出荷時には「する」に設定されています。

●メールボックスサイズ

メールはカメラの内蔵メモリーに保存されます。その内蔵メモリー内のメールボックスのサイズを設定します。1～6MBの範囲で1MB単位ごとに指定します。工場出荷時には「2MB」に設定されています。

補足 ・最大値の 6MB に設定した場合、メモリーのほとんどがメール用に使われるため、画像ファイルを内蔵メモリーに保存できないことがあります。

■設定する

メール環境を設定する手順について説明します。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

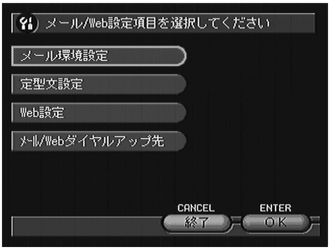
初期設定メニューが表示されます。

❷［メール /Web 設定］を選びます。

メール /Web の設定画面が表示されます。



❸［メール環境設定］を選びます。



❹ 各項目の設定を行います。

設定は3画面あります。

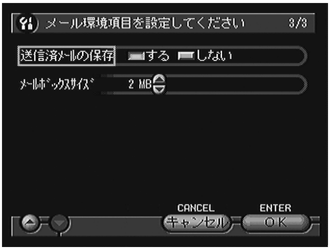
参照 ・P.32「メール環境の設定内容」
・カメラ編「ソフトキーボードを使う」「項目の選択のしかた」





❺ 設定が終了したら、［OK］を選びます。

設定が完了し、メール/Webの設定画面に戻ります。

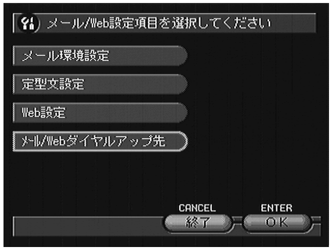


続いて、次の項ではメールのアクセスポイントのダイヤルアップ接続先を設定します。

ダイヤルアップ接続先を設定する

メールを使うときのダイヤルアップ接続先を設定します。

❶ ［メール/Webダイヤルアップ先］を選びます。



❷ ［ダイヤルアップ一覧］から選択したいダイヤルアップ接続先を選び、［選択］を選びます。

選択したダイヤルアップ接続先と電話番号が表示されます。



補足
・ここで設定するダイヤルアップ接続先は、Webの設定と共通です。すでに設定が終了している場合は、ここで設定する必要はありません。→P.52「ダイヤルアップ接続先を設定する」
・まだダイヤルアップ接続先が登録されていない場合は、登録を先に行ってください。→P.24「ダイヤルアップ接続先を設定する」

❸ ［OK］を選びます。

メール/Webの設定画面に戻ります。

❹ ［終了］を選びます。

初期設定メニューに戻ります。

アドレス帳に宛先を登録する

仕事の関係者や知人の情報をアドレス帳に登録しておくことができます。ここで登録したメールアドレスやFAX番号を、メールやFAXを送信するときの「宛先」に指定することができます。

補足
・アドレス帳には最大50件のアドレスデータを登録することができます。
・パソコンを使って、新しいアドレスを登録したり、変更したりすることもできます。→パソコンとの連携編「アドレス帳を設定する」

新しいアドレスを追加する

新しいアドレスを追加します。

■アドレス帳の設定内容

アドレスには次の９項目を入力します。

●氏名

登録する人の名前を入力します。

●ふりがな（必須項目）

登録する人の名前をひらがなで入力します。必ず入力してください。

●会社名

登録する人の会社名を入力します。

●ふりがな

登録する人の会社名をひらがなで入力します。

●アドレス

メールアドレスを入力します。ここで入力したメールアドレスは、メール送信時の「宛先」に指定できます。→P.44「クイック送信を設定する」→P.75「メールに添付して送信する」→P.90「メールを作成する」

重要
・メールアドレスは、大文字、小文字を区別して正確に入力してください。

●電話番号

電話番号を入力します（例：03-xxxx-xxxx）。

●FAX 番号

FAX 番号を入力します（例：03-xxxx-xxxx)。ここで入力した FAX 番号は、FAX 送信時の「宛先」に指定できます。

→ P.80「FAX に送信する」→ P.102「FAX 送信を使う」

●携帯電話

携帯電話の番号を入力します（例：090-xxxx-xxxx)。

●備考

備考を入力します。

■アドレスを追加する

アドレスを追加する手順について説明します。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

初期設定メニューが表示されます。

❷［アドレス帳］を選びます。

アドレス帳設定の画面が表示されます。



❸［追加］を選びます。



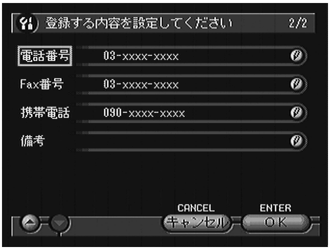
❹ 各項目の を選び、ソフトキーボードを使って必要な情報を入力します。

設定は 2 画面あります。



参照
・P.37「アドレス帳の設定内容」
・カメラ編「ソフトキーボードを使う」

❺ **入力が終了したら、[OK] を選びます。**
登録が完了し、アドレス帳設定の画面（手順❸）にアドレスが追加されます。



❻ **[終了] を選びます。**
初期設定メニューに戻ります。

アドレスを変更する

すでに登録してあるアドレスを変更します。

❶ **アドレス帳設定の画面を表示します。**



参照 ・P.38「アドレスを追加する、手順❶・❷」

❷ **[氏名] から変更したいアドレスを選んだ後、[変更] を選びます。**
選択したアドレスの内容が表示されます。

❸ **アドレスを変更します。**



重要
・変更した設定は復元できません。設定の内容を十分に確認してから変更を行ってください。

❹ **変更が終了したら、[OK] を選びます。**
変更が完了し、アドレス帳設定の画面に戻ります。

❺ **[終了] を選びます。**
初期設定メニューに戻ります。

アドレスを削除する

不要になったアドレスを削除します。

❶ **アドレス帳設定の画面を表示します。**



参照 ・P.38「アドレスを追加する、手順❶・❷」

❷ **[氏名] から削除したいアドレスを選んだ後、[削除] を選びます。**
削除を確認するメッセージが表示されます。

重要
・削除した設定は復元できません。設定の内容を十分に確認してから削除を行ってください。

❸ **シャッターボタンを押します。**
選択したアドレスが削除されます。手順❷・❸を繰り返すと、続けて削除できます。



補足 ・[キャンセル] を選ぶと、削除を中止できます。

❹ **削除が終了したら、[終了] を選びます。**
初期設定メニューに戻ります。

定型文を登録する

よく使う文章を定型文として登録しておくことができます。ここで登録した定型文を、メールの本文に指定することができます。

補足
- 最大 30 件の定型文を登録することができます。
- パソコンを使って、定型文を登録したり、変更したりすることもできます。→パソコンとの連携編「定型文を設定する」

新しい定型文を追加する

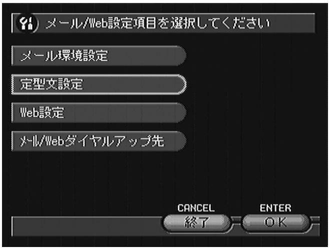
定型文を登録します。

❶ **モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。**
初期設定メニューが表示されます。

❷ **［メール /Web 設定］を選びます。**
メール /Web 設定項目の画面が表示されます。



❸ **［定型文設定］を選びます。**
定型文リストの画面が表示されます。

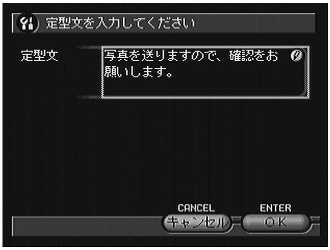


❹ **［追加］を選びます。**



❺ **定型文を入力します。**
全角で 30 文字まで入力できます。

参照　・カメラ編「ソフトキーボードを使う」



❻ **入力が終了したら、[OK] を選びます。**
登録が完了し、メール/Web設定項目（手順❹）の画面に定型文が追加されます。

❼ **[終了] を選びます。**
メール /Web 設定項目の画面に戻ります。

❽ **再度、[終了] を選びます。**
初期設定メニューに戻ります。

定型文を変更する

すでに登録してある定型文を変更します。

❶ **定型文リストの画面を表示します。**

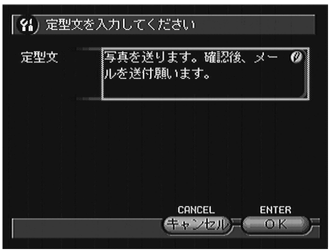
参照　・P.41「新しい定型文を追加する、手順❶～❸」



❷ **[定型文リスト] から変更したい定型文を選んだ後、[変更] を選びます。**
選択した定型文の内容が表示されます。

❸ **定型文を変更します。**

重要
・変更した定型文は復元できません。定型文の内容を十分に確認してから変更を行ってください。



❹ **変更が終了したら、[OK] を選びます。**
変更が完了し、定型文リストの画面に戻ります。

❺［終了］を選びます。

メール/Web 設定項目の画面に戻ります。

❻再度、［終了］を選びます。

初期設定メニューに戻ります。

定型文を削除する

不要になった定型文を削除します。

❶定型文リストの画面を表示します。



参照　・P.41「新しい定型文を追加する、手順❶～❸」

❷［定型文リスト］から削除したい定型文を選んだ後、［削除］を選びます。

削除を確認するメッセージが表示されます。

重要　・削除した設定は復元できません。設定の内容を十分に確認してから削除を行ってください。

❸シャッターボタンを押します。



選択した定型文が削除されます。手順❷・❸を繰り返すと、続けて削除できます。

補足　・［キャンセル］を選ぶと、削除を中止できます。

❹削除が終了したら、［終了］を選びます。

メール/Web 設定項目の画面に戻ります。

❺再度、［終了］を選びます。

初期設定メニューに戻ります。

クイック送信を設定する

クイック送信とは、編集モードから画像送信の操作にすぐに移行し、手軽に画像を送信できる便利な機能です。指定した1枚の画像を常に同じ送信先に送るときに使います。この機能を使うには、あらかじめ送信先やダイヤルアップ接続先（電話をかける先）などの設定などをしておく必要があります。

参照 ・P.24「ダイヤルアップ接続先を設定する」、P.32「メールを設定する」、P.37「アドレス帳に宛先を登録する」

設定する

クイック送信は電子メール機能を利用して、画像を送信先に送ります。ここでは、そのメールの送信先とダイヤルアップ接続先、送信する画像のサイズを設定します。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

初期設定メニューが表示されます。

❷［クイック送信］を選びます。

クイック送信の設定画面が表示されます。



❸ クイック送信の設定を行います。

詳しい設定方法については、後の項で説明します。

・アドレス帳を使って宛先を選択する→ P.45
・ダイヤルアップ接続先を選択する→ P.45
・画像サイズを設定する→ P.46



❹ 設定が終了したら、［OK］を選びます。

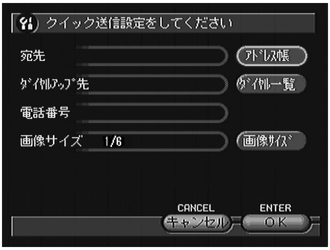
初期設定メニューに戻ります。

■アドレス帳を使って宛先を選択する

アドレス帳から宛先を選択します。

❶ 設定画面で、［アドレス帳］を選びます。

アドレス帳の設定画面が表示されます。



❷ ［アドレス一覧］から設定したいアドレスを選んだ後、［選択］を選びます。

［宛先］と［メールアドレス］に選択したアドレスの内容が表示されます。



補足 ・まだ宛先が登録されていない場合は、登録を先に行ってください。→ P.37「アドレス帳に宛先を登録する」

❸ ［OK］を選びます。

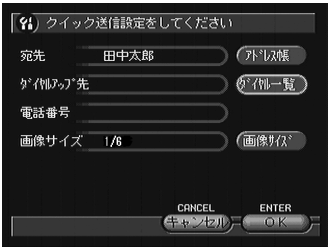
選択した宛先が設定画面（手順❶）に表示されます。

■ダイヤルアップ接続先を選択する

ダイヤルアップ接続先を選択します。

❶ 設定画面で、［ダイヤル一覧］を選びます。

ダイヤルアップの設定画面が表示されます。



❷ ［ダイヤルアップ一覧］から設定したいダイヤルアップ接続先を選んだ後、［選択］を選びます。

［ダイヤルアップ先］と［電話番号］に選択したダイヤルアップ接続先の内容が表示されます。



❸［OK］を選びます。

選択したダイヤルアップ接続先が設定画面に表示されます。

〈補足〉・まだダイヤルアップ接続先が登録されていない場合は、登録を先に行ってください。→ P.24「ダイヤルアップ接続先を設定する」

■画像サイズを設定する

送信する画像のサイズを設定します。画質を優先するか、時間を優先するかにより、適切なサイズを選びます。

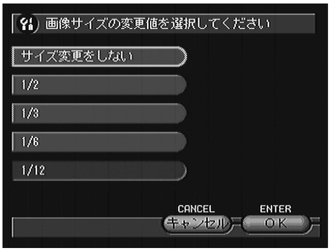
❶ 設定画面で、［画像サイズ］を選びます。

画像サイズの設定画面が表示されます。



❷ 設定したい画像サイズを選んだ後、［OK］を選びます。

設定が完了し、設定画面に選択した画像サイズが表示されます。

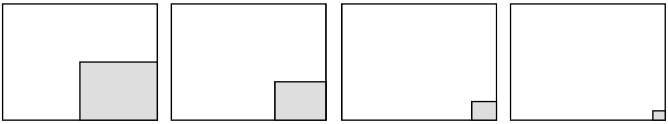


●サイズ変更をしない

オリジナルの画像がそのまま送信されます。画質を優先して送信するときに選択します。

● 1/2、1/3、1/6、1/12

オリジナルの画像が1/2～1/12に縮小されたサイズで送信されます。
画質より送信するときの時間を優先するときに選択します。画像サイズが小さくなるほど送信時の時間が短くなります。



1/2　1/3　1/6　1/12

〈補足〉
・撮影した画像はファイルサイズが大きいため、送信に時間がかかります。送信時間を短くするためにも画像サイズを小さくすることをおすすめします。工場出荷時には「1/6」に設定されています。
・ここでの設定は、送信する画像サイズを変更するだけで、カメラに記録されているオリジナルの画像サイズを変更するわけではありません。

●画像サイズ

画像サイズを変更した後の画素数については、下の表を参考にしてください。

設定値	画像サイズ（画素数）		
	2048	1024	640
サイズ変更をしない	2048×1536	1024×768	640×480
1/2	1024×768	512×384	320×240
1/3	672×512	320×256	192×160
1/6	320×256	160×128	96×80
1/12	160×128	64×64	64×40

補足 ・サイズを変更すると、［再生モード］-［編集モード］-［画像編集］-［サイズ変更］と同様の機能により、縮小された画像が別途作成されます。この画像イメージは、［編集モード］で確認できます。このとき、DISPLAY キーを押すと画像サイズが表示されます。

画像サイズ



オリジナルの画像イメージ



1/12に縮小した画像イメージ

ダイレクト送信を設定する

オフィスにあるコンピューター（サーバー）に電話をかけて、サーバー内のフォルダーにカメラから直接ファイルを送信することをダイレクト送信といいます。ここでは､ダイレクト送信のときに利用するダイヤルアップ接続先や送信先のサーバー名などを設定します。

補足 ・実際には、サーバーに接続されたモデムに電話をかけます。

■ダイレクト送信の設定内容

ここでは、次の 3 項目を設定します。

●ダイヤルアップ先

あらかじめ登録しておいた一覧の中から､実際にダイレクト送信で利用するダイヤルアップ接続先を選択します。

補足 ・まだダイヤルアップ接続先が登録されていない場合は､登録を先に行ってください。→ P.26「ダイヤルアップ接続先を設定する（ダイレクト送信の場合）」

●転送先サーバー

ファイルを送信する先のサーバー（受信側のコンピューターのこと）です（例：ftp.testnet.ne.jp または xxx.xxx.xxx.xxx）。通常は空欄のままにしておきます。

●転送先フォルダー

ファイルを送信するサーバー内のフォルダーを指定します｡通常は空欄のままにしておきます。

＜ Windows の場合＞

フォルダーを指定した場合、受信側のコンピューターとカメラ側の指定により、送信時の動作は次のようになります（例：c:/xxxx/xxxx、c:\xxxx\xxxx）。

受信側		カメラ側		送信結果
指定あり	指定なし	指定あり	指定なし	
●	－	－	●	コンピューター側が指定したフォルダーにファイルが送信されます。※1
●	－	●	－	カメラ側の指定は無視され、コンピューター側が指定したフォルダーにファイルが送信されます。※1
－	●	●	－	カメラ側が指定したフォルダーにファイルが送信されます。※2
－	●	－	●	カメラにエラーメッセージが表示され、ファイルの送信はできません。

※1 指定したフォルダーが存在しない場合、コンピューター内に自動的にフォルダーが作成されます。
※2 指定したフォルダーが存在しない場合、カメラにエラーメッセージが表示され、ファイルの送信はできません。

重要

・フォルダーの指定は間違えないように正確に入力してください。入力を間違えると受信側に指定したフォルダーが存在しないことになり、送信エラーが発生します。

＜ Macintosh の場合＞

空欄のままにしておきます。ファイルは、受信側のコンピューターで指定したフォルダーに送信されます。

■設定する

ダイレクト送信を設定する手順について説明します。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

初期設定メニューが表示されます。

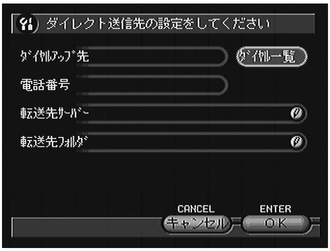
❷［ダイレクト送信］を選びます。

ダイレクト送信の設定画面が表示されます。



❸［ダイヤル一覧］を選び、ダイヤルアップ接続先を選びます。

選択したダイヤルアップ接続先と電話番号が表示されます。



参照 ・P.45「ダイヤルアップ接続先を選択する」

❹ 各項目の設定を行います。



参照 ・P.48「ダイレクト送信の設定内容」
・カメラ編「ソフトキーボードを使う」

❺ 設定が終了したら、［OK］を選びます。

初期設定メニューに戻ります。

Webを設定する

インターネット上のWeb（ホームページ）を見るときの条件を設定します。

Web環境を設定する

はじめにWeb環境を設定します。

■ Web環境の設定内容

ここでは、次の5項目を設定します。

●プロキシサーバー

プロキシサーバーは主にセキュリティ目的で使われます。また、よくアクセスするホームページの情報を一時的に保管するキャッシュ機能も持っています。プロバイダーやシステム管理者から提供された場合、必要に応じて設定してください。通常は空欄のままにしておきます。
（例：proxy.testnet.ne.jp または xxx.xxx.xxx.xxx）

●プロキシポート

プロバイダーやシステム管理者から提供された場合、必要に応じて設定してください。通常は空欄のままにしておきます（例：xxxx）。

●プロキシ未使用サーバー

プロバイダーやシステム管理者から提供された場合、必要に応じて設定してください。通常は空欄のままにしておきます（例：xxx.xxx.*.*）。

●ホームページ指定

インターネットに接続したときに、一番最初に表示させたいホームページを指定します。指定しない場合は空欄のままにしておきます。
（例：http://www.testnet.co.jp/）

●画像データの読み込み

ホームページを表示するときに、画像の読み込みをするかしないかを設定します。「する」または「しない」のいずれかの を選びます。画面表示が遅いときに「しない」を設定すると、画像の表示を省略し、画面表示を速くすることができます。

補足 ・本製品のプロキシ機能には制限があります。そのため、認証機能等が使用できないことがあります。

■設定する

Webの環境を設定する手順について説明します。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

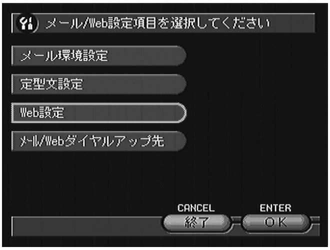
初期設定メニューが表示されます。

❷［メール/Web設定］を選びます。

メール/Webの設定画面が表示されます。



❸［Web設定］を選びます。



❹ 各項目の設定を行います。

設定は2画面あります。

参照 ・P.50「Web環境の設定内容」
・カメラ編「ソフトキーボードを使う」



❺ 設定が終了したら、［OK］を選びます。

設定が完了し、メール/Webの設定画面に戻ります。



続いて、次の項ではWebのアクセスポイントのダイヤルアップ接続先を設定します。

ダイヤルアップ接続先を設定する

Web 機能を使うときのダイヤルアップ接続先を設定します。

❶ [メール/Webダイヤルアップ先] を選びます。



❷ [ダイヤルアップ一覧] から選択したいダイヤルアップ先を選び、[選択] を選びます。

選択したダイヤルアップ接続先と電話番号が表示されます。



補足
・ここで設定するダイヤルアップ接続先は、メールの設定と共通です。すでに設定が終了している場合は、ここで設定する必要はありません。→ P.36「ダイヤルアップ接続先を設定する」
・まだダイヤルアップ接続先が登録されていない場合は、登録を先に行ってください。→ P.24「ダイヤルアップ接続先を設定する」

❸ [OK] を選びます。

メール /Web の設定画面に戻ります。

❹ [終了] を選びます。

初期設定メニューに戻ります。

FTP アップロードを設定する

画像を埋め込んだHTMLファイルとオリジナルの画像を、ホームページのあるサーバーにアップロード（送信）することができます。ここでは、アップロードをするときに利用するダイヤルアップ接続先や送信先のサーバー名などを設定します。

■ FTP アップロードの設定内容

ここでは、次の5項目を設定します。

●ダイヤルアップ先

あらかじめ登録しておいた一覧の中から、実際にFTPアップロードで利用するダイヤルアップ接続先を選択します。

● FTP サーバーアドレス

ファイルを送信する先のサーバーを指定します（例：ftp.testnet.ne.jp または xxx.xxx.xxx.xxx）。

●転送先フォルダー

ファイルを送信するサーバー内のフォルダーを指定します（例：/xxxx/xxxx）。

重要

・フォルダーの指定は間違えないように正確に入力してください。入力を間違えると受信側に指定したフォルダーが存在しないことになり、送信エラーが発生します。

●ユーザーアカウント名

FTPアップロードの送信先となるFTPサーバーに接続するときに使うユーザーアカウント名です。ダイヤルアップ接続先設定のPPPアカウントと共通の場合もあります。

●パスワード

サーバーに接続するときに使うパスワードです。ダイヤルアップ接続先設定のPPPパスワードと共通の場合もあります。

コラム

FTP について

FTP（File Transfer Protocol）は、インターネットでファイルを転送するときに使われるプロトコルです。

■設定する

FTP アップロードを設定する手順について説明します。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

初期設定メニューが表示されます。

❷［FTP アップロード］を選びます。

FTPアップロードの設定画面が表示されます。



❸［ダイヤル一覧］を選び、ダイヤルアップ接続先を選びます。

選択したダイヤルアップ接続先と電話番号が表示されします。

参照 ・P.45「ダイヤルアップ接続先を選択する」



❹ 各項目の設定を行います。

設定は 2 画面あります。

参照 ・P.53「FTP アップロードの設定内容」
・カメラ編「ソフトキーボードを使う」



❺ 設定が終了したら、［OK］を選びます。

初期設定メニューに戻ります。

